



# 長岡市ため池ハザードマップ

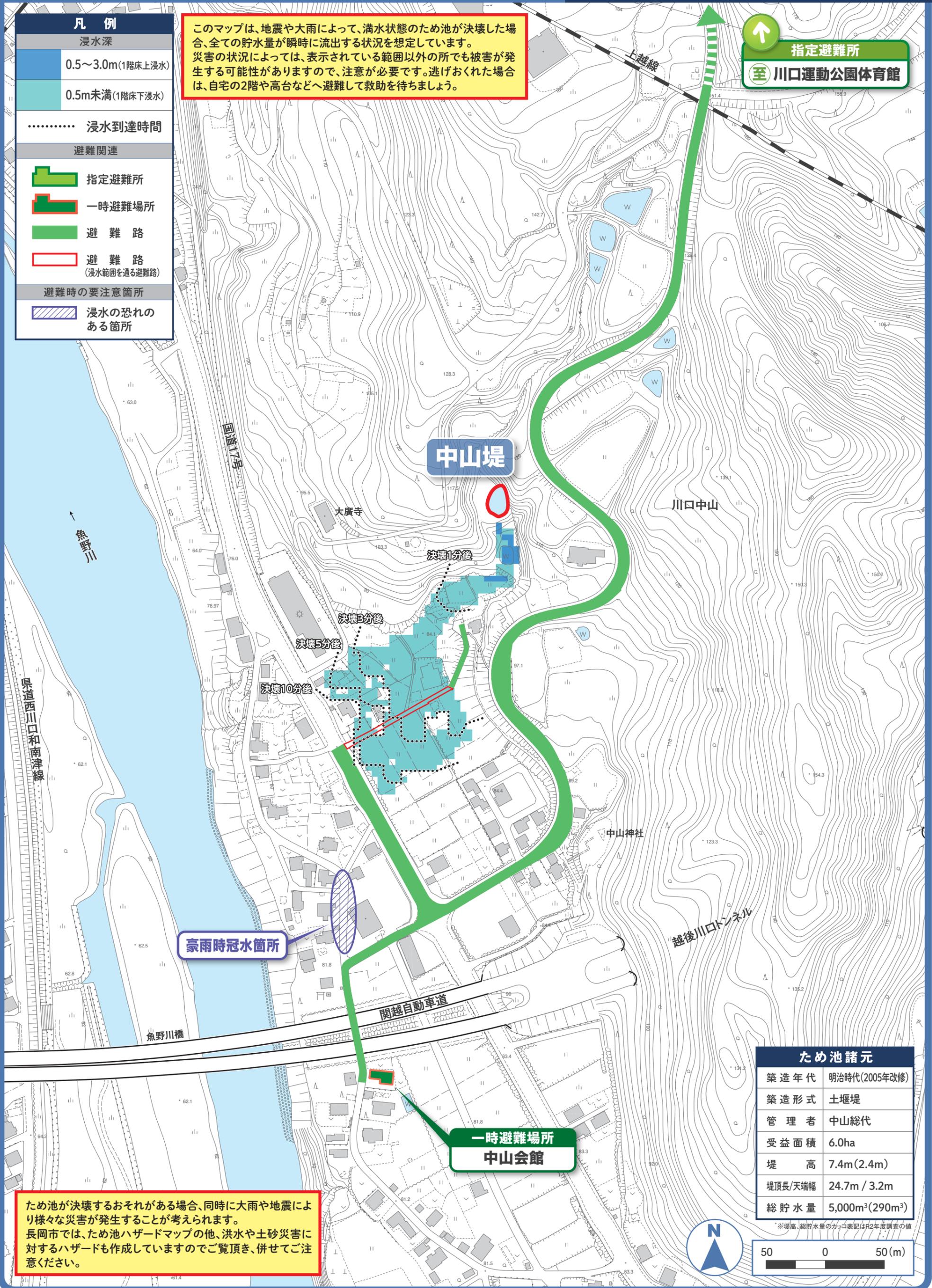
# 中山堤

凡例	
浸水深	
0.5~3.0m(1階床上浸水)	
0.5m未満(1階床下浸水)	
.....	浸水到達時間
避難関連	
	指定避難所
	一時避難場所
	避難路
	避難路 (浸水範囲を通る避難路)
避難時の要注意箇所	
	浸水の恐れのある箇所

このマップは、地震や大雨によって、満水状態のため池が決壊した場合、全ての貯水量が瞬時に流出する状況を想定しています。災害の状況によっては、表示されている範囲以外の所でも被害が発生する可能性がありますので、注意が必要です。逃げおくれた場合は、自宅の2階や高台などへ避難して救助を待ちましょう。

↑

至 川口運動公園体育館



ため池が決壊するおそれがある場合、同時に大雨や地震により様々な災害が発生することが考えられます。長岡市では、ため池ハザードマップの他、洪水や土砂災害に対するハザードも作成していますのでご覧頂き、併せてご注意ください。

ため池諸元	
築造年代	明治時代(2005年改修)
築造形式	土堰堤
管理者	中山総代
受益面積	6.0ha
堤高	7.4m(2.4m)
堤頂長/天端幅	24.7m / 3.2m
総貯水量	5,000m <sup>3</sup> (290m <sup>3</sup> )

\* 堤高、総貯水量のカッコ表記はR2年度調査の値

